



大聖堂では、毎朝、神戸教区
の聖餐式が献祭されており、
その中で戦禍にあるウクライ
ナ、スーダン、そしてイスラ
エルとガザとの、一刻も早い
分裂、争いの終結の祈りが献
げられています。ニュースで
特に大きく取り上げられてい
ます、イスラエルとガザを実
効支配するイスラム組織ハマ
スの軍事衝突は、大きな犠牲
が出ており、深刻さを増して

自分が正しい
戦争、分裂、争いの原因は
それぞれでしょうが、その中
には、必ずと言っていいほど
「自分が正しい」との思いがあ
るはずで、経験なのか、誰
かが言っていたからなのか、
自分が独自でそう思っている
のか知りませんが、「自分が
正しい」という思いが原因の
一つになっているはずで、
そして、仮にそういう思いを
貫けたとしても、それが平和
だとは決して言えません。言

救い主をさがす
救い主がお生まれになった
時、羊飼いたちは地図も電話
もない、占星術の学者たちの
ように目印の星だつてないの
に、どのようにして救い主を
探し当てたのでしょうか。ル
カ福音書の降誕物語では、そ
のことを伝えていませんが、
きっと大変な思いをして探し
当てたのだらうと思います。
では、探し当てるには何が大
切だったのでしょうか。それ

自分を捨て、
自分の十字架を背負って
救い主が生まれる前、いい
なずけのマリアが身ごもって
いると聞いたヨセフは、『ひそ
かに縁を切ろうと決心した』
のでした。律法では「婚外子」
をもうけることは、石打の刑
に値しました。ですから彼は、
愛するマリアを石打の刑にし
ないために、あえて縁を切る
うとしたのでした。その判断
は、人としては賢明なもので
しょうが、神様の目には誤り
でした。神様は、マリアのお
なかの子がヨセフとマリアに
よって育てられることを望ん
でおられました。しかし、ヨ
セフは自分が律法に背くこと
によって、どのような事態が
待っているのかわかっていた
はずで、だから、そのこと
に怯え、誤った判断をしよう

としましたが、この後、ヨセ
フは天使から告げられたよう
に、マリアを迎え入れて、神
様の目に正しい判断をしまし
た。このようにして、彼が固
執している「自分が正しい」
という思いを捨て、そして自
分の十字架を背負ったことに
よって、救い主に出会うこと
ができたのでした。
救い主に出会うためには、
探し当てるには、そのヨセフ
の姿が大切です。自分が固執
している、自分が大切にして
いる、自分が正しいという思
いを捨てるのが何より大切
です。ヨセフは、自分の正し
さを突き破りました。自分で
はなく、神様の目に正しいこ
とを選びました。私たちにも
それが大切なのです。
まもなく始まるクリスマス
を待ち望む季節、降臨節が始
まります。今一度、固執して
しまっている、握り締めて手
放せていない自分の、自分だ
けの、自分だけが良いと思っ
ている、勘違いしている正し
さというものを見つめ直し、
クリスマスには心で出会う、
心で探し当てる救い主との出
会いを喜びたいものでありま
す。
(神戸聖三カエル教会副牧師)

救い主に出会うために

司祭 ヨシユア 長田 吉史

います。その犠牲となった罪
もない子どもたちの表情や
人々の様子を目にしますと、
いたたまれない気持ちでいっ
ぱいです。

自分が正しい

まもなく、私たちはクリス
マスを迎えます。「自分が正し
い」、自分や自分たちだけとい
った「部分を絶対化する」の
では、救い主に出会うことは
難しいし、探し当てられない
と思います。そしてそれは、
私たち一人ひとりにだつて同
じことが言えるのです。

は、ヨセフの姿と言えそうで
す。

としましたが、この後、ヨセ
フは天使から告げられたよう
に、マリアを迎え入れて、神
様の目に正しい判断をしまし
た。このようにして、彼が固
執している「自分が正しい」
という思いを捨て、そして自
分の十字架を背負ったことに
よって、救い主に出会うこと
ができたのでした。

日本聖公会 神戸教区報
神のおとずれ

2023年
12月号
クリスマス号

発行所
神戸教区事務所
TEL 078(351)5469
FAX 078(382)1095
<https://www.nskk-kobe.org/>



発行責任者
司祭 瀬山 会治

印刷所
文明堂印刷所